

2019年度 年間指導計画書

2019年 4月
目黒学院中学・高等学校
一貫コース 教務部

目 次

【 1 】	6 年 間 の 指 導 体 制	・ ・ ・ ・ ・	2
【 2 】	教 科 指 導	・ ・ ・ ・ ・	4
	〔 1 〕 国 語 科	・ ・ ・ ・ ・	4
	〔 2 〕 社 会 科	・ ・ ・ ・ ・	9
	〔 3 〕 数 学 科	・ ・ ・ ・ ・	15
	〔 4 〕 理 科	・ ・ ・ ・ ・	19
	〔 5 〕 英 語 科	・ ・ ・ ・ ・	23
	〔 6 〕 技 能 教 科	・ ・ ・ ・ ・	30
	〔 7 〕 特 別 の 教 科 道 徳 (中 学)	・ ・ ・ ・ ・	34
【 3 】	総 合 的 な 学 習 (探 究) の 時 間	・ ・ ・ ・ ・	36
【 4 】	特 別 活 動	・ ・ ・ ・ ・	37

【1】6年間の指導体制

中学1年 少人数クラスで生徒に寄り添った親身な指導

「中学生になったんだ」という生徒のみなさんの自らの成長意欲を活かして、担任の先生を中心に近くで見守りながら、必要なときはすぐに指導に入っていけるように注意しながら、成長を促していきます。

また、授業内や学級活動、校外学習、体育祭・梧林祭（文化祭）といった学校行事などさまざまな機会を用いて、新しい仲間とのコミュニケーションの形成を促していきます。全てにおいて、少人数を生かし、各生徒個人にあった対応をできるようにしていきます。

時には、ご家庭も交えて、中学・高等学校の六年間でいっしょに過ごしていく事の意義を理解していただくとともに、いまここで「学ぶ」ことの意義を考えていきます。

中学2年 きめ細やかな対応で着実に「自尊感情」の育成

十分な授業時間の確保に加え、きめ細やかな指導をしています。このことにより、着実な基礎学力の形成に努めてまいります。本校の学校教育の中で、「学ぶ」とはどのようなことなのか、将来への展望を意識するように指導を進めています。

また、授業、クラス・学年内の仕事や行事におけるさまざまな役割の実行を通して、生徒一人ひとりの存在価値を自ら感じ取って行くことができるように努めてまいります。

宿泊を伴う体験学習、また、富士山登山によって、人と人との関わり大切さを実感し、自分にあった人間関係のあり方を考えていくと同時に、「自らの力でできる」という達成感をもつ機会を作っています。

中学3年 自分から進んで選択し、実行していく姿勢の定着

身体も心も成長し「高校生」になるための精神的な準備をする重要な一年間と位置づけています。そこで、自らの進路を周りの方々の協力を得ながら考えていく機会を作るようにしています。このことにより、現代社会で生きていくなかで必要な「協力してもらう」そして「自ら協力していく」ことが大切であり、どれだけ重要な意味をもつかを実感できるように指導していきます。

また、与えられるのではない。自分から進んで選択、実行していく姿勢を身につけていくために、小さなところから工夫をしています。強制的な面は極力排除し、「まず自分で考えなければいけない」ということを認識するように促していきます。

高校1年 生徒一人ひとりが自分にあった「学習方略」を確立

認知心理学に基づき、生徒一人ひとりが自分にあった学習方略の確立ができるように促していきます。また、与えられてことの暗記ではない、「考える」ことを促す授業とそれに従った定期考査問題の作成の工夫により、生徒一人ひとりの学習が主体的、能動的になるように工夫していきます。

また、外部のプレゼンテーション、大学の講義受講体験、オープンキャンパス・大学説明会への参加など外へ出ていく機会を通して自分の希望する将来像を確立していくように進めていきます。

思春期は、精神的な成長が最も顕著な時期の一つです。そこで、「自律」と「自立」を目指した仕掛けを用意しています。特に、集団の中で自分の役割を感じる工夫を重要視しています。そして、「自分たちで学年を作っていく」という意識を育てています。自分で、自分たちで進んで行うから「やる気が出る」、その気持ちと行動を大切に、主体的、能動的に行動する意欲を養っていきます。

高校2年 「真の自立」を目標に生徒自身の意思を尊重した指導

社会人として生きていくのに必要なこととして、「真の自立」があると認識し、生徒自身の意思を大切にしながら、指導を進めていきます。

進学へ向けて、「第一志望届」を作成、提出することにより、自分の将来への意識の確立を目指しています。さらに、自分の将来像を描けるように、社会人との交流をする機会や社会人からプレゼンテーションの方法を学び、自己表現力も伸ばしていくように努めています。また、学習合宿など、自主的に参加できる企画も用意して、学ぶ意欲を増進します。そして、自分自身の学習方略の上に、自分自身の時間の使い方も固めていきます。

アジアセミナーなどさまざまな学びの機会を通して、ただ、「外国語に慣れる」「外国文化に触れる」ということではなく、「自分で行動しないとわからないことがたくさんある」ということに気づき、「自分の目で正しい情報を掴まえに行く」「これからどう学ぶかを自分で考える」という積極的な姿勢を育てていきます。

高校3年 自学時間の確保により着実な学力形成

今までの五年間の学びを基盤とした集大成の一年間です。その結果のひとつは、もちろん、「合格」「進学」になることは間違いありません。そこで、「志望理由書」の提出により、生徒一人ひとりが自分の気持ちをはっきりさせて、目標を目指して前進していくことができるようにしていきます。また、自学時間の確保により本当の学力がつくことを意識できるように指導を進めます。

しかし、大学合格が最終目標であるとは考えていません。大学に進学をするのであれば、大学に入学してからどのように学びどのように自分自身の可能性を伸ばしていくか、そのことが重要であると考えています。

そこで、この大学合格を目指したこの時期の「受験勉強」のなかで、その学習を通して、「問題を発見する力」「協働して作業をする力」「自分で問題を解決する力」といった大学で学問をするときや社会に出てから必要とされる力の基礎力を育てていくように教育活動を進めていくように努めてまいります。

【2】教科指導

〔1〕国語科

- (1) 指導目標： 「口で考える。」「手で考える。」「手で紡ぎ、声でつながる知性。」国語科では「体を通じてまなぶ」ということを重視しています。「考えること」を脳の働きに還元するような思考をやめ、人とひとが「話し合う」「発表する」「描く」「繰り返し書く」「みなでページをめくって調べる」＝誰もが思わず言葉を発する、手を動かす、そのような身体運動を促すことを心がけています。また、学習のプロセスを個人の内面という狭い世界に閉じ込めるのではなく、集団の動きの、その流れの中に実現すること、そして、そのような学習集団の形成を通じて学力を向上させることを企てます。
- 様々なメソッドはその大きな流れの一部と位置づけ、特定の手法に安住することなく、生徒の成長とともに自在に変化していく教育を目指しています。
- (2) 学習方法： 教科書の熟読、内容理解、筆者の心情の読解のみにとどまらず、話し合いや学び合い等、アクティブラーニングで授業を展開する。語彙、漢字や文法等については、小テストを重ねていくことで知識量を増やしていく。また、時事問題や調べ学習、協働作業を通して、教科の枠を外した学習を積極的に取り入れ、興味・関心の幅を広げるとともに、より読解力を深められるように学べる環境をつくる。
- (3) 使用教材： **中学** 伝え合う言葉 1,2,3 (教育出版) / 中学国語学習ノート 1,2,3 (教育出版) / 新しい書写 1・2・3 年用 (東京書籍) / 新訂総合国語便覧 (第一学習社) / 常用漢字クリア四訂版 (尚文出版) / 国語の文法ワークブック (東京書籍) / 三版二訂古文読解のための標準古典文法 (第一学習社) / 辞書 / 漢和辞典 / 自主作成プリント
- 高校** 国語総合現代文編・古典編 / 精選現代文B新訂版 (大修館書店) / 精選古典B (明治書院) / ジャンプアップ高校漢字問題集 (東京書籍) / 重要古文単語 315 (桐原書店) / 三版二訂古文読解のための標準古典文法 (第一学習社) / 新訂総合国語便覧 (第一学習社) / 大学入試にでる順 漢字の書き取り・読み方 / 古語・漢和辞典 / 自主作成プリント
- (4) 学習計画： (次頁に記載)

☆中学《国語A》

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	詩歌「ふしぎ」 オツベルと象	詩「虹の足」 タオル	「新しい博物学」の時代
	第2回定期考査	詩歌「河童と蛙」 故事成語	水の山 富士山 夏の葬列 日本の花火の楽しみ	近代の俳句
後	第3回定期考査	書写・日本語の文字 百年後、千年後の友人で あるあなたへー古典の 扉を開くー	敦盛の最期 随筆の味わい 徒然草 枕草子	漢文訓読 風景と心情
	第4回定期考査	竹取物語 言葉がつなぐ世界遺産	ガイアの知性 走れメロス	旅への思い、芭蕉と『おくのほそ道』
	第5回定期考査	少年の日の思い出 蜘蛛の糸	書写 ごんぎつね	古典文法 <高校内容> 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」

☆中学《国語B》

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	言葉の単位 文の成分	話し言葉と書き言葉 類義語	敬語 呉音・漢音・唐音 話を聞いて自分の表現に生かす
	第2回定期考査	単語のいろいろ	対義語 活用のない自立語 活用のある自立語	情報を編集するしかけ 意見を生かして話し合うには 活用のない付属語 和語・漢語・外来語
後	第3回定期考査	漢字の部首 指示語 熟語の構成	多義語 同音語 敬語 漢検問題演習	広告を批評する 短歌の作成 熟字訓 慣用句・ことわざ
	第4回定期考査	画数と活字の字体 漢字の音と訓	方言と共通語 まちがえやすい漢字 筆順・画数 漢検問題演習 百人一首	慣用句・ことわざ 活用のある付属語 和歌の調べ
	第5回定期考査	百人一首 日本語の音声 日本語の文字 漢和辞典で調べる	百人一首 付属語のいろいろ	和歌の調べ 異字同訓 四字熟語 古典文法 絵法師良秀
期				

☆高校<<現代文>>

		第1学年（国語総合）	第2学年（現代文B）	第3学年（現代文演習）
前 期	第1回定期考査	水の東西	ミロのヴィーナス 山椒魚	「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 心に「海」を持って
	第2回定期考査	鏡 良識派	山月記	檸檬 文学史
後 期	第3回定期考査	四コマ漫画をつくろう 羅生門	世界はいま 分かち合う社会	大学入試問題演習
	第4回定期考査	「美しさの発見」について 百人一首	こころ	大学入試問題演習
	第5回定期考査	城の崎にて メディアとしての顔	評論キーワード 百人一首 「である」と「する」 こと 文学史	

☆高校《古典》

		第1学年（国語総合）	第2学年（古典B）	第3学年（古典B）
前	第1回定期考査	宇治拾遺物語「絵仏師良秀」 文法「用言」	和歌「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」	大鏡「南院の競射」
	第2回定期考査	徒然草「これも仁和寺の法師」	和歌「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」	源氏物語「車争ひ」
後	第3回定期考査	伊勢物語「あづま下り」	方丈記「ゆく河の流れ」 史記「四面楚歌」	蜻蛉日記「町の小路の女」
	第4回定期考査	土佐日記「門出」	史記「四面楚歌」 敬語の復習	センター対策問題演習
	第5回定期考査	漢文入門 故事成語・矛盾 万葉集	源氏物語「光源氏誕生」 文法復習	

〔2〕社会科

(1) 指導目標： 中学課程では、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の3つの分野を学習します。

中学1年次と2年次では、地理的分野、歴史的分野を学習し、3年次では、1・2年次の学習を踏まえて歴史・公民の両分野の学習を進めていきます。

高校課程では、この中学課程での学習を踏まえ、さらに、目標とする進路に応じた科目を選択させ、生徒一人ひとりの希望する進路に近づけたいと考えています。

社会科の学習は教室の中だけにとどまりません。校外のさまざまな施設・団体にも積極的に協力を求め、「環境」、「開発」、「人権」、「平和」などの学習テーマを独自に設定し、校内での授業と関連付けて総合的に学習を進めてゆこうと考えています。そのために私たちが新たに設定した学習指導指針が「ATL」です。

A : Academic and Active (学問的であり、行動的であること)

T : Travel and Training

(できるだけ旅をさせ、訓練を積ませること)

L : Learn and Live (学び、生きること)

この「ATL」にもとづいた学習を通して、「総合的かつ知的な好奇心」を生徒一人ひとりに芽生えさせ、「幅広い興味と関心」をもたせ、「自ら学び、現代社会の中でたくましく生きる力」を育ててゆきたいと考えています。

(2) 学習方法： 教科書の熟読、整理ノートや小テストを通して知識の蓄積を図り、資料等の調べ学習やディスカッション、ディベート等の学び合いを通して理解を深めていく。また、レポートや論述課題を通して表現力やプレゼンテーション能力を高めていく。さらに、iPadを積極的に活用しながら、情報収集・活用能力を養い、多角的に視野を広げていけるように進めていく。

(3) 使用教材： **中学** 新編新しい社会 地理，歴史，公民/基礎基本徹底ワーク 地理，歴史，公民/新編新しい地図(東京書籍)/iPad/他

高校 世界史B/要点マスター世界史B整理ノート(東京書籍)/プロムナード世界史(浜島書店)/地歴高等地図(帝国書院)/改訂版詳説日本史B/授業用日本史整理ノート/詳説日本史図録第7版(山川出版社)/現代社会・ワークノート/現代社会資料集2019/新倫理 新訂版(清水書院)/新政治・経済(第一学習社)

(4) 学習計画： (次頁に記載)

☆中学《社会（歴史・公民）》

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	歴史の流れをとらえよう 古代までの日本 人類の出現と進化 古代文明／宗教 縄文文化	中世の日本 室町時代 東アジアとの交流 キリスト教 ルネサンス ヨーロッパ	二度の世界大戦と日本 現代の日本と世界
	第2回定期考査	弥生文化 邪馬台国 奈良時代	安土・桃山時代 江戸時代	現代社会
後	第3回定期考査	中世の日本 鎌倉時代 モンゴル襲来 室町時代 東アジアとの交流	産業革命 ヨーロッパ ロシア・アメリカ	日本国憲法 現代の民主政治と社会
	第4回定期考査	キリスト教 ルネサンス ヨーロッパ 安土・桃山時代 江戸時代	開国 近代の日本 明治維新	経済
	第5回定期考査	産業革命 ヨーロッパ ロシア・アメリカ 開国	日清・日露戦争 産業革命 近代文化	地域社会

☆中学≪社会（地理）≫

		第1学年（地理）	第2学年（地理）	
前	第1回定期考査	世界の姿 地球儀と世界地図 地域区分 国名と位置	日本の姿 世界から見た日本の姿 地形	
	第2回定期考査	世界各地の人々の生活 と環境 住居 暮らし 地形	気候 災害・防災	
後	第3回定期考査	気候 宗教 世界の諸地域 アジア	資源・エネルギー 産業 環境問題 商業・サービス業	
	第4回定期考査	ヨーロッパ アフリカ	グローバル化 交通・通信 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方	
	第5回定期考査	アメリカ オセアニア	近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	
期				

☆高校<<地歴（世界史）>>

		第1学年（世界史B）	第2学年（世界史B）	第3学年（世界史演習）
前	第1回定期考査	世界史のとびら 文明以前の人類 オリエント世界と東地中海世界	ヨーロッパ世界 東アジア世界の変容とモンゴル帝国	世界の一体化の進展とアジアの変容・イスラーム諸国の変容と模索～東アジア諸国の模索と変容 世界の一体化の完成とその影響／世界大戦の時代
	第2回定期考査	地中海世界と西アジア世界 南アジア世界	海域世界の発展と東南アジア 大交易時代	東西冷戦から多極的国际社会へ 相互依存を深める社会
後	第3回定期考査	東アジア世界 中央ユーラシア世界 アフリカ・オセアニア・古アメリカの地域世界 イスラーム世界	ユーラシア諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ	諸地域世界の形成と交流 先史～中世の基礎問題演習と質疑応答 海洋による世界の一体化 近世～近代前半の基礎問題演習と質疑応答
	第4回定期考査	ヨーロッパ世界	欧米における工業化と国民国家の形成	地球社会形成の模索 近代後半～現代の基礎問題演習と質疑応答
	第5回定期考査	東アジア世界の変容とモンゴル帝国	産業資本主義の発展と帝国主義	
期				

☆高校<<地歴（日本史）>>

		第1学年（日本史B）	第2学年（日本史B）	第3学年（日本史演習）
前	第1回定期考査	原始・古代 文化の始まり 農耕社会 古墳とヤマト政権	幕藩体制の確立 織豊政権 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造	幕藩体制の動揺 幕府の衰退 近代国家の成立 開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立
	第2回定期考査	律令国家の形成 飛鳥朝廷 律令国家への道 平城京の時代	幕藩体制の展開 幕政の安定 経済の発展	日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展
後	第3回定期考査	天平文化 平安王朝 貴族政治と国風文化 摂関政治 国風文化 地方政治	幕藩体制の動揺 幕政の改革 幕府の衰退 近代国家の成立 開国と幕末の動乱	2つの世界大戦とアジア 第一次世界大戦／ワシントン体制／恐慌の時代／軍部の台頭／第二次世界大戦
	第4回定期考査	中世社会の成立 院政 鎌倉幕府 蒙古襲来 鎌倉文化	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清戦争	占領下の日本 占領と改革 冷戦の開始と講和 高度成長の時代 激動する世界と日本
	第5回定期考査	武家社会の成長 室町幕府・文化 戦国大名 幕藩体制の確立 織豊政権 桃山文化	日露戦争と国際関係 近代産業の発展	
期				

☆高校<<公民>>

		第1学年（現代社会）		第3学年（倫理・政経）
前	第1回定期考査	現代社会における諸課題 青年と自己実現		少子高齢社会と社会保障 地域社会の変貌と住民生活 雇用と労働をめぐる問題
	第2回定期考査	よりよく生きることを求めて		中小企業問題
後	第3回定期考査	民主政治の基本原理		農業と食糧問題 地球環境と資源・エネルギー問題 国際経済格差の是正 人種・民族問題と地域紛争
	第4回定期考査	国民の政治参加と地方自治		国際社会における日本の立場と役割 現代の倫理的課題
	第5回定期考査	民主社会と倫理 現代の経済社会 経済活動のあり方		
期				

〔3〕数学科

- (1) 指導目標： 数学科では、授業で得た知識をもとにして「思考力」・「分析力」・「表現力」・「解答力」を養い、「自学自習」できる環境を常に与え続け、自ら問題発見から問題解決に至るまでの力を身につけることを指導目標としています。
- 具体的方策として『先取り学習』・『ゼミ形式授業』・『朝 Math』の3点に重点を置いて取り組んでいます。
- 本校は授業時間数が多いため、特にペースを速めなくても『先取り学習』ができるので、高校3年次で大学入試対策演習に多くの時間を割き「解答力」を磨くことができます。
- また、全学年対象に週1時限『ゼミ形式授業』を実践し、少人数グループでの協働作業を通して「思考力」・「分析力」を養いながら、様々な角度から議論し、プレゼンテーションを通して「表現力」に磨きをかける環境をつくっています。
- 一方、生徒のレベルに合わせて、知識の整理や計算力の向上などの基礎演習から数検や大学入試対策などの発展学習まで個々の目標に到達できるよう、『朝 Math』（毎朝始業前）と称して、一定時間教員が生徒の質問に個別対応できるような環境を提供しています。
- 我々は生徒の能動的な学習をサポートする立場として、「自学自習」できるように生徒一人ひとりを導き、大学受験だけでなく、社会に出てからも役に立つ力を、6年間かけてじっくりと育てることを念頭に置いて指導していきたいと考えています。
- (2) 学習方法： 一方的な教え込みをせず、机上での学習だけにとどまることなく、実験・体験・作業・議論を多く取り入れながら、コミュニケーションの中で知識や技能を体得し数学的思考力を養う。また、適宜確認テストや個別課題に取り組みながら理解度や計算力を測り、生徒個々に適した指導し、全体の数学力を向上させていく。ゼミでは、個々の目標（数検）が実現できるように柔軟に指導する。
- (3) 使用教材： **中学** 新編新しい数学1, 2, 3（東京書籍）／数学リピート学習（正進社）／自主作成プリント／iPad／数学検定過去問
高校 数学 Advanced I, II, III, A, B（東京書籍）／PRIME 数学 I・A, II・B, III（東京書籍）／自主作成プリント／iPad
チャート式（数研出版）／大学への数学 1対1の問題演習（東京出版）／数学検定過去問／大学入試問題過去問
- (4) 学習計画： （次頁に記載）

☆中学〈数学〉

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	正負の数 定期考査対策	1年次の復習 式の計算 連立方程式 解法 定期考査対策	多項式 平方根 定期考査対策
	第2回定期考査	文字と式 定期考査対策	利用法 1次関数 定期考査対策	2次方程式 関数 定期考査対策
			前期のまとめ	
後	第3回定期考査	方程式 比例と反比例 定期考査対策	平行と合同 三角形と四角形 定期考査対策	関数 相似な図形 円 定期考査対策
	第4回定期考査	比例と反比例 平面図形 定期考査対策	確率 定期考査対策	円 三平方の定理 標本調査 定期考査対策
	第5回定期考査	平面図形 空間図形 資料の分析と活用 定期考査対策	2年次内容総復習 ＜3年次内容＞ 多項式 平方根 定期考査対策	＜高校内容・数学Ⅰ＞ 数と式 中学3年次内容総復習 定期考査対策

☆高校<<数学>>

		第1学年(数学ⅠA)	第2学年(数学ⅡB)	第3学年(文系演習)
前	第1回定期考査	<数学Ⅰ> 集合と論証 2次関数 定期考査対策	<数学Ⅱ> 方程式・式と証明 定期考査対策	資料の整理 定期考査対策
	第2回定期考査	2次関数 定期考査対策	図形と方程式 定期考査対策	標本調査 定期考査対策
後	第3回定期考査	<数学A> 場合の数 確率 定期考査対策	三角関数 指数関数・対数関数 定期考査対策	数学史 定期考査対策
	第4回定期考査	<数学Ⅰ> 図形と測量 定期考査対策	指数関数・対数関数 微分と積分 定期考査対策	6年間の振り返り (センター試験対策) 定期考査対策
	第5回定期考査	データの分析 <数学A> 図形の性質 定期考査対策	<数学B> 数列 ベクトル 定期考査対策	
期				

☆中学・高校<<数学ゼミ>>

		中学全学年	高校第1・2学年	
前	第1回定期考査	資料の活用・統計 定期考査対策	数学検定（6月）対策 一次検定対策 定期考査対策	
	第2回定期考査	 定期考査対策	数学検定（6月）対策 二次検定対策 定期考査対策	
後	第3回定期考査	総合的な数学活動 定期考査対策	数学検定（1月）対策 一次検定対策 定期考査対策	
	第4回定期考査	数学検定（1月）対策 定期考査対策	数学検定（1月）対策 二次検定対策 定期考査対策	
	第5回定期考査	総合的な数学活動 定期考査対策	数学検定（1月）対策 および振り返り 定期考査対策	

〔4〕理科

- (1) 指導目標： 中学の段階では興味・関心を引き出すために実験・観察の時間を多く取り入れています。いくら授業で説明を聞いてみても、座学の授業では到底味わうことのできない驚きや発見が実験・観察の授業にはあるからです。“本物に触れる”ことには大きな力があり、本校の理科は、ここをスタート地点と捉えています。そして、生徒たちは実験・観察を通して「わーすごい！」「びっくりした！」と思うだけでなく「なぜ？どうして？」と疑問を持ちはじめます。この“疑問を持つ心”が次のステップとなります。なぜだろうと思い、自分の頭で考え、仲間に自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞く活動を取り入れていく中で、論理的な思考能力の育成を図ります。その方法の一つとしてグラフや表を使ったり、数学的手法を用いたりすることも学びます。

中学3年次からは高校の内容が入ってきます。高校の授業では中学と比べると実験・観察の回数は減っていきませんが、中学の授業で体験してきた事を基盤にして“理論の体系づくり”に力を入れていきます。もちろん、大学入試にも対応していくために、特に高校3年次では入試演習の授業、放課後や長期休暇中の講習も行っています。

- (2) 学習方法： 教科書の講義による知識の習得を、ペア・グループワークで対話や学び合いによる問題演習を通して理解の定着を図る。また、観察・実験を通して実用的な理解を図り、レポート・ディスカッション・プレゼンテーションにより表現力を高める。さらに、多分野にまたがる多くの資料を読んだり、適宜 iPad を用いた調べ学習等で他分野や他教科とのつながりを持たせる指導をしていき、大学入試にも生かせるようにする。

- (3) 使用教材： **中学** 新しい科学 1, 2, 3 (東京書籍) / 中学必修テキスト理科 1, 2, 3 年 (文理) / 改訂新編生物基礎 (東京書籍) / 標準セミナー生物基礎 (第一学習社) / 自主作成プリント / iPad / 他
高校 物理基礎・物理 (数研出版) / リードα 物理基礎・物理 (数研出版) / フォトサイエンス物理図録 (数研出版) / 化学基礎・改訂新編化学 (東京書籍) / ニューサポート化学基礎・改訂新編化学 (東京書籍) / 自主作成プリント / iPad / 他

- (4) 学習計画： (次頁に記載)

☆中学〈理科〉

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	植物の世界 観察用具の使い方 花・葉・茎・根の つくりとはたらき 植物の分類	天気とその変化 気象観測・雲のでき方 前線のまわりの 天気の変化 大気の動きと 日本の天気	地球と宇宙 宇宙の広がり 地球の運動と 天体の動き 月と惑星の見え方
	第2回定期考査	身のまわりの物質 身のまわりの物質と その性質 気体の性質	化学変化と原子・分子 物質のなりたち 物質どうしの 化学変化	化学変化とイオン 水溶液とイオン 化学変化と電池 酸・アルカリとイオン
後	第3回定期考査	水溶液の性質 物質の状態と 状態変化 身のまわりの現象 光の世界	酸素に係わる化学変 化／化学変化と物質 の質量／化学変化と 物質の質量 動物の生活と生物の変遷 生物と細胞	生命の連続性 生物の成長と生殖 遺伝の規則性と 遺伝子
	第4回定期考査	音の世界 力の世界 復習・発展学習	動物のつくりと はたらき 動物の分類 生物の変遷と進化	運動とエネルギー 物体のいろいろな 運動 力の規則性 エネルギーと仕事
	第5回定期考査	大地の変化 火を噴く大地 動き続ける大地 地層から読みとる 大地の変化 復習・発展学習	電気の世界 静電気と電流 電流の性質 電流と磁界	地球と私たちの未来のために 自然の中の生物／自然 環境の調査と保全／自 然の恵みと災害／科学 技術と人間／持続可能 な社会をつくるために
期				

☆高校内容《生物・物理基礎》 ※高校1年「生物基礎」は「物理基礎」の内容で実施

		中学第3学年（生物）	高校第1学年（物理）	第2学年（物理）
前	第1回定期考査	生物の特徴 生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	運動とエネルギー 速度 加速度	熱 熱と熱量 熱と物質の状態 熱と仕事 不可逆変化と熱機関
	第2回定期考査	遺伝子とそのはたらき 生物と遺伝 遺伝情報の分配	落体の運動	電気 電気の性質 電流と電気抵抗 電気回路 電気とエネルギー
後	第3回定期考査	遺伝情報とタンパク質合成 生物の体内環境の維持	運動の法則 力とそのはたらき/ 力のつりあい/運動の法則/摩擦を受ける運動/液体や気体から受ける力	電流と磁場 交流と電磁波 力と運動 平面内の運動 剛体
	第4回定期考査	体内環境を維持するしくみ 体内環境を守るしくみ	仕事と力学的エネルギー 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存	運動量と力積 運動量の保存 反発係数
	第5回定期考査	バイオーームとその分布 生態系とその保全	波 波と媒質の運動 波の伝わり方 音の性質 発音体の振動と共振・共鳴	等速円運動 慣性力
期				

☆高校<<化学・演習>>

		第1学年(化学基礎)	第2学年(化学)	第3学年(文系演習)
前	第1回定期考査	化学と人間生活 物質の構造 物質の成分と 構成元素 原子の構造と 元素の周期表	有機化合物 有機化合物の 特徴と構造 炭化水素 アルコールと 関連化合物	大学受験等対策
	第2回定期考査	化学結合	芳香族化合物 有機化合物と 人間生活	大学受験等対策
後	第3回定期考査	酸と塩基 酸と塩基の 発展的確認	高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と 人間生活	大学受験等対策
	第4回定期考査	酸化還元反応 酸化還元反応の 発展的確認	無機物質 周期表と元素 非金属の単体と 化合物 典型金属元素の単体 と化合物	大学受験等対策
	第5回定期考査	物質の変化 物質と化学反応式 「専門化学」へ向けて 全体的確認	遷移元素の単体と 化合物 無機物質と人間生活	

〔5〕英語科

- (1) 指導目標： 「グローバル社会で活躍できる有能な人材の育成」の土台となるような“世界で通用する英語力の養成”を目指しています。そこで、6年次の到達目標を次のように設定しています。
1. 英字新聞や洋書が辞書を多用しないで読めるようになる。
 2. 日本の伝統や文化等を英語で説明したり、自分の考えを表現できるようになる。
 3. 身近な話題について英文で書かれたテキストや記事の内容を、ある程度自然な速さでも聞き取ることができる。
 4. speech(スピーチ)、debate(議論)そして discussion(話し合い)が出来る力を active learning (アクティブ・ラーニング)の授業を通してできるようになる。
- 最終的には、目的に応じて“学び方”を選び、生涯英語を学び続けるような“自立した学習者”を育成したいと考えています。これらの目標を達成するために次のことに重点を置いて日々の英語教育を進めています。
1. 反復練習の徹底により、しっかりとした語彙力・文法力を基盤にバランスの取れた4技能の育成
 2. ペアやグループでの協同学習を通して、実践的コミュニケーション能力の育成
 3. 海外研修プログラムとの連携を図りながら、積極的に異文化を理解し世界の人々と協調する姿勢の育成
- (2) 学習方法： 単語・イディオム・文法等の知識のアウトプットを適宜確認しながら、ペア・グループワークを多く取り入れつつ、音読・会話・英作文等の能力を成長段階に合わせて育成する。特に、ALTとのTT (Team Teaching) の授業(中学・高校3年：英語表現、高校1・2年：コミュニケーション英語)においては、会話やプレゼンテーションを重視した授業展開をし表現力を高めていく。
- (3) 使用教材： **中学** NEW CROWN 1, 2, 3 (三省堂) / WinPass 1, 2, 3 (文理) / Talk&Talk Book 1, 2, 3 (正進社) / NHK 基礎英語 / interchange FIFTH EDITION (CAMBRIDGE 出版) / 自主編成教材
- 高校** LANDMARK Fit I, II・予習完成ノート (啓林館) / PRO-VISION II, III・Workbook (桐原書店) / Listening Pilot / アトラス総合英語・ワークブック (桐原書店) / 新演習 750 / センター直前演習 (進研学参) / 自主編成教材
- (4) 学習計画： (次頁に記載)

☆中学《英語R》

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	オリエンテーション アルファベット 英語の音とつづり 自己紹介 否定文 復習	オリエンテーション 一般動詞の過去形 ハワイの伝統文化 be 動詞の過去形・ 過去進行形 物語文／復習	受動態 現在完了 復習
	第2回定期考査	説明文 時刻を尋ねる 一般動詞 好きなものの紹介 場所を尋ねる・説明する 復習	未来形／接続詞 that ポスター内容の理解 環境問題 There is/are ～ 動名詞／食文化 復習	現在完了 不定詞 動名詞 復習
後	第3回定期考査	複数形 自然環境について 値段を尋ねる・説明する 他己紹介 持主を尋ねる・説明する 復習	文型 オーストラリア文化 許可の求め方 不定詞 自分の夢の発表 依頼の仕方／復習	物語文 分詞 関係代名詞 比較級 復習
	第4回定期考査	三人称・単数・現在形 イギリス文化について 助動詞 can スポーツについて 依頼 復習	比較級 プレゼンテーション 受動態 インド文化 復習	関係代名詞／分詞 want+人+to 不定詞 間接疑問文 いろいろな疑問文 説明文 復習
	第5回定期考査	現在進行形 外国の中学生活 過去形 日本の年中行事 復習 一年間の復習	助動詞／前置詞 文法総復習 英文内容把握 発音・アクセント コミュニケーション 一年間の総復習	命令文・感嘆文 伝記／名詞・冠詞・形容 詞・副詞／論説文／前置 詞・接続詞／物語文 復習 三年間の総復習

☆中学《英語S》

		第1～3学年		
前	第1回定期考査	スポーツ 受動態 休暇と娯楽 現在完了		
	第2回定期考査	休暇と娯楽 現在完了 地域社会 第五文型 人の特徴		
後	第3回定期考査	物語文 経験 関係代名詞 故郷・都市・国 分詞		
	第4回定期考査	健康 関係代名詞／分詞 want+人+to 不定詞 間接疑問文 食べ物 説明文		
	第5回定期考査	食べ物 伝記 世界の地理 論説文・物語文 計画と招待 生活の変化		
期				

☆中学《英語表現》

		第1学年	第2学年	第3学年
前	第1回定期考査	いろいろな単語 be 動詞 疑問文 復習	英文日記・自己紹介 be 動詞の過去形・ 過去進行形 未来形 疑問詞	自己紹介 早口言葉 比較級 最上級
	第2回定期考査	疑問文 一般動詞 疑問詞＋一般動詞 復習	存在の表現 第4文型 第2文型 前置詞 動名詞 不定詞	同格 英語すごろく 現在完了
後	第3回定期考査	疑問詞＋一般動詞 do, does/命令文 人称代名詞 助動詞 疑問詞 復習	不定詞 接続詞 英文日記	電話での会話 道案内 第5文型 疑問詞＋to 不定詞 レシピ
	第4回定期考査	私の1日 副詞 疑問詞 復習	助動詞 学校のルール	受動態 間接疑問文 前置詞 動名詞
	第5回定期考査	買い物 過去形・過去形の疑問文 自己紹介 時制 英文日記 復習/一年間の復習	道案内 接続詞 比較級 最上級・同格 英語すごろく 現在完了	関係代名詞 接続詞 付加疑問文 日本文化紹介 プレゼンテーション 会話(受動態)

☆高校<<第1学年>>

		コミュニケーション英語Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅰ
前	第1回定期考査	諺・名言・標語 意見文 道順の質疑応答 自己紹介カード 情報聴取 病状の質疑応答	自己紹介 説明文 英作文 明日の予定	文の種類 時制 完了形 助動詞 態
	第2回定期考査	インタビュー 会話を広げる 話題内容理解 伝記 要約 聴取内容把握	スケジュール 宣伝 状況描写	不定詞 動名詞
後	第3回定期考査	イルカと少年 スピーチ 伝記	話し手の気持ちを 聞き取る 説明文 対話の流れ 英作文	分詞 関係詞
	第4回定期考査	聴取内容把握 新聞記事 生活環境について 考える	対話の流れ 電話応対 対話の要点	比較 仮定法
	第5回定期考査	語句・文法・内容確認 一年間の語彙・文法の 総復習 重要語句・文法の確認	対話の流れ 発言 総復習	否定 代名詞 様々な表現と構文 総復習

☆高校<<第2学年>>

		コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語ⅡⅢ	英語表現Ⅱ
前	第1回定期考査	障がい者スポーツ 新幹線の清掃業務	自己紹介 説明文 手紙 自己表現 英作文 確認テスト	比較 仮定法
	第2回定期考査	救助犬 女性の生き方・活躍	発音 音の切れ目 手続きの流れ・詳細 テレビ番組 発表 確認テスト	否定 代名詞 様々な表現と構文 復習
後	第3回定期考査	恋愛についての学説 サグラダファミリア 硫黄島からの手紙	アナウンス 物語文 位置の説明 体験談 確認テスト	時制 受動態 助動詞 復習
	第4回定期考査	持続可能な社会 A I の利用 ブータン	スピーチ 街の紹介 予定 電話案内 対話の詳細 確認テスト	分詞 動詞の語法・イディオム 復習
	第5回定期考査	葉っぱのフレディの 一生 読解問題（初見）	対話の詳細 電話での問い合わせ 道順 伝記 確認テスト	関係詞 接続詞 前置詞 形容詞・副詞の語法 比較 復習

☆高校<<第3学年>>

		コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ TT
前	第1回定期考査	エッセイ 説明文 ファッション 化学	不定詞 動名詞 分詞 動詞の語法	自己紹介 プレゼン 海外研修 大学生になったら Speaking Test
	第2回定期考査	芸術 環境 紀行文 日本文化・歴史	動詞の語法 関係詞 接続詞 前置詞 形容詞の語法	私が敬愛する 歴史上の人物 日本文化紹介① 私が知事になったら 夏休みのプラン Speaking Test
後	第3回定期考査	説明文 心理学・倫理 ビジネス ものづくり 宇宙 生物	副詞の語法 比較 名詞・代名詞の語法 主語と述語動詞の一致 疑問文 否定・倒置・省略・強調	最近のニュースを 見て思うこと 日本文化紹介② 日本と外国の文化の 違い Speaking Test
	第4回定期考査	論説文 科学技術・経済 説明文 生命・科学 言語 大学入試問題演習	大学入試問題演習	センター試験 リスニング対策 Speaking Test
	第5回定期考査			

〔6〕技能教科（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）

- (1) 学習方法： ○音楽・美術…中学段階では実技を中心として授業を行っていますが、高校2年次に選択科目として、再度いずれか1科目を履修します。その際には、音楽史・美術史や理論も多く取り入れて授業を行っています。また、毎年「芸術鑑賞」を実施しており、本物に触れることの大事さも経験させています。
- 保健体育…中学段階で行われる校外授業も視野に入れつつ、幅広い授業展開を行っています。新しい学習指導要領では、男子のダンス、女子の格技も必須ですが、これらも完全実施しており、総合的な体力づくりに励んでいます。
- 技術・家庭…技術は、中学のみに設置された教科なので、学習指導要領に完全に沿った形で授業を進めています。そのため、実習を中心として授業が組まれています。技術・家庭科は学習効果を高めるために、ゼメスター方式（1単位時間を、半年ずつ2時間連続で行う形式）で実施しています。
- 家庭は、一貫生は高校1年次で再び履修することを踏まえて、中学1年次では家庭科実習として「帰宅マップ」作りを実施しています。これは実習内容として正規のもので、国立中学校を中心に近年広がりつつある実習形式です。防災学習の一環としての実習を兼ねているので、通学区域が広い私立中学校としては、大事な取り組みであると考えています。そして、高校1年次には一般的な実習（被服、調理）を行っています。
- 情報…実習を通して、Word・Excel・Power Pointの使い方や知識を習得するとともに、技術を駆使してプレゼン発表できるようになること。また、スマートフォン等の通信機器の利便性や危険性について考え、理解を深めます。
- (2) 評価方法： 積極的に授業へ参加できているかを踏まえた上で、実技・作品・レポート・プレゼン等により総合的に評価します。ただし、保健（高校1・2年）については、前後期末に定期考査を実施します。
- (3) 学習計画： （次頁に記載）

☆音楽

	中学第1・2学年	中学第3学年	高校第2学年
前期	≪2年≫ 合唱 器楽 鑑賞	日本歌曲 器楽 歌唱曲 リズム	合唱 音楽史 歌唱
	歌唱 ≪1年≫ 歌唱 楽典 鑑賞 リズム 器楽 合唱 合奏	歌唱曲 鑑賞曲 合奏 鑑賞曲 合唱・合奏・鑑賞	ミュージカル鑑賞・歌唱 三部合唱 創作（作曲） オペラ鑑賞・演奏 合奏 音楽史 歌唱 合唱 まとめ

☆美術

	中学第1・2学年	中学第3学年	高校第2学年
前期	≪1年≫ 色彩の特徴 絵画（自画像） デザイン（ポスター） 平面構成絵画		色彩 絵画 鉛筆によるデッサン （身近な物を描く） アクリル絵具 （想像画）
	≪2年≫ 木版画 多色版画絵画 立体表現 色粘土による塑像 デザイン（ポスター）	絵画表現（自画像） 鉛筆によるデッサン 水彩絵の具 デザイン（ポスター） 金属工芸 銅版レリーフ彫刻 デザイン （置時計の文字盤）	版画と彫刻 てん刻（印章の作成） 版画 ドライポイント デザイン 書体 ポスター

☆保健体育

	中学全学年（保・体）	高校第1学年（保健）	高校第2学年（保健）
前期	体育理論 体づくり 陸上 ダンス 器械体操 応急手当 水の事故について	健康の考え方 健康のすがた 意志決定・行動選択と環境づくり 生活習慣病 食事 運動・休養 喫煙 飲酒 [前期末考査]	思春期 性への関心・欲求と性行動 妊娠・出産 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活 中高年期 医薬品 [前期末考査]
後期	バスケットボール バレーボール Tボール バドミントン 保健 サッカー 柔道	薬物乱用 感染症 性感染症・エイズ 欲求と適応機制 心身の相関とストレス 心の健康のために 交通事故 応急手当 心肺蘇生法 [学年末考査]	医療サービス 保健サービス 保健活動・対策 大気汚染・水質汚染 土壌汚染・環境汚染 ごみ処理・上下水道整備 食品の安全 働くこと 働く人の健康づくり [学年末考査]

	高校第1学年（体育）	高校第2学年（体育）	高校第3学年（体育）
前期	体育理論 体づくり 陸上 ダンス バレーボール	体育理論 体づくり 陸上 ダンス 球技（選択・自主運営）	体育理論 体づくり 陸上 ダンス 球技（選択・自主運営）
後期	バスケットボール サッカー ソフトボール 球技（選択） 空手	球技（選択・自主運営）	球技（選択・自主運営）

☆中学《技術》・高校《社会と情報》

	中学第1・2学年	中学第3学年	高校第2学年
前期	《1年》 生物育成 トマト栽培 材料と加工（木材） 箸と箸箱製作 バターナイフ製作 本箱製作	材料と加工 （金属・プラスチック） フォトスタンド製作 情報 制御実習	タイピング Word 実習 文字の装飾・編集 印刷・書式設定
	《2年》 材料と加工（金属） ノギスの扱い方 金属の性質 キーホルダー製作 スプーン製作 ドームライト製作		Excel 実習 セルの移動や挿入 数式 グラフ・表の挿入 Power Point 実習 プレゼン資料作成 プレゼン発表会

☆中学《家庭》・高校《家庭基礎》

	中学第1・2学年	高校第1学年	
前期	《2年》 住生活 衣生活 被服実習 消費生活と環境	衣生活 被服実習 食生活 調理実習	
	《1年》 自立 持続可能な社会 家族・家庭 子どもの成長 被服実習 食生活	経済・生活 住生活 環境 子ども・高齢期・人生 ※適宜、調理実習あり	

〔7〕 特別の教科 道徳（中学）

- (1) 指導目標：
1. 自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けるようにする。
 2. 学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
 3. 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
 4. 自己についての課題を自分で見つけ、道徳的価値に基づいた人間としての生き方について考えを深められるようにする。
- (2) 学習方法：
1. 生徒一人ひとりが自己を見つめ、内面的に自覚し、各題材の主題を自分の問題として受け止めることができるようにする。
 2. 教科書や関連書籍・資料の題材について、生徒間同士あるいは教員を含めた議論を踏まえながら、道徳的価値を共有する。
 3. 日常生活、学級活動、学校行事や各教科等、様々な場面で道徳的な実践ができるよう、関連性や実用性を図る。また、日常や学校生活の中から道徳的な実践を体験的に学習したことがフィードバックできるようにする。
 4. エゴグラムの分析結果をもとに、生徒一人ひとりの発達段階に併せた課題にも習慣的に取り組み、自己との関わりや葛藤等、自分の意見を出しやすい環境をつくる。
 5. 学校行事だけでなく、必要に応じて学年の枠を超えて、縦割り授業を展開し、道徳的価値観の視野を広げる環境をつくる。
- (3) 使用教材：
1. 中学道徳 きみがいちばんひかるとき（光村図書）
 2. 各種関連書籍・資料等〔図書館・インターネット等〕
 3. 自主作成ワークシート〔座学用・行事用〕
 4. iPad〔ロイロノート〕
- (4) 評価方法：
- 授業での発言やレポート等、ルーブリックに基づき、生徒個々の成長に併せた個人内評価とする。成績は数値化せず、所見の形式で提示する。
- (5) 学習計画： （次頁に記載）

☆道徳

※学校行事内における道徳的指導内容時間を含む。

	第1学年	第2学年	第3学年
前期	※オリエンテーション ※エゴグラム ※入学式 1 「自ら考えて」 ※校外授業 2 「仲間とよりよい生活を送るために」 ※芸術鑑賞・校外授業 ※富士登山 ※救命講習 ※終業式 ※校内宿泊体験	※入学式参列 ※始業式 ※エゴグラム 1 「自覚をもって」 ※校外授業 2 「社会の一員として」 ※芸術鑑賞・校外授業 ※富士登山 ※救命講習 ※終業式 ※校内宿泊体験	※入学式参列 ※始業式 ※エゴグラム 1 「志をもって」 ※校外授業 2 「他者と共に生きる社会を目ざして」 ※芸術鑑賞・校外授業 ※富士登山 ※救命講習 ※終業式 ※校内宿泊体験
後期	※始業式 ※防災訓練 ※梧林祭（準備・当日） ※校外宿泊・職場体験 3 「広い視野で」 ※エゴグラム ※プレゼン発表会 ※大掃除 4 「共に学び合いながら」 ※校外授業 ※修了式	※始業式 ※防災訓練 ※梧林祭（準備・当日） ※校外宿泊・職場体験 3 「広い視野で」 ※エゴグラム ※プレゼン発表会 ※大掃除 4 「よりよい社会を目指して」 ※校外授業 ※修了式	※始業式 ※防災訓練 ※梧林祭（準備・当日） ※校外宿泊・職場体験 3 「広い視野で」 ※エゴグラム ※プレゼン発表会 ※大掃除 4 「未来を切り開く」 ※校外授業 ※卒業式

【3】総合的な学習（探究）の時間

- (1) 指導目標： 1. 本校一貫コースの教育目標（p.1「はじめに」）および「6年間の指導体制」（p.3～4）に基づき、各プログラムを通して自主性を育てる。
2. 各教科及び特別活動と密接な関連を図りながら、体験的、発展的な指導によって学習したことを踏まえ、課題を自分で見つけ、自ら考え、問題を解決する力を養う。
- (2) 学習方法： 1. 生徒一人ひとりが各プログラムに積極的に参加し、自分の問題として受け止めることができるようにする。
2. 生徒間同士あるいは教員を含めた議論を踏まえながら、協働作業の重要性を認識する。
3. 各プログラムが日常生活、学級活動や各教科等、様々な場面において関連性や実用性を図る。また、日常や学校生活の中から体験的に学習したことがフィードバックできるようにする。
4. 必要に応じて学年の枠を超えて、プログラムによっては縦割りで実施し、視野を広げる環境をつくる。
- (3) 使用教材： 1. 各種関連書籍・資料等〔図書館・インターネット等〕
2. 自主作成ワークシート
3. iPad〔ロイロノート〕
- (4) 評価方法： 事前・事後指導を含め、各プログラムでの発言やレポート等、ルーブリックに基づき、生徒個々の成長に併せた個人内評価とする。成績は数値化せず、所見の形式で提示する。
- (5) 学習計画： （以下に記載 ※実施時期は年間行事予定を参照）

学年	内容	オリエンテーション	防災施設見学	富士登山	救命講習	校内宿泊	ボランティア活動	梧林祭+プレゼン準備	弁当の日	事前・事後学習合計	総合計	
第1学年 (50時間)		20 h	3 h	18 h	3 h	21 h		42 h	1 h	10 h	118 h	
第2学年 (70時間)			3 h	18 h	3 h	21 h		42 h	1 h	10 h	98 h	中学合計
第3学年 (70時間)			3 h	18 h	3 h	21 h		42 h	1 h	10 h	98 h	314 h
第4学年 (1～2単位)				18 h	3 h		20 h	30 h		10 h	81 h	
第5学年 (1～2単位)				18 h	3 h		20 h	30 h		10 h	81 h	高校合計
第6学年 (1～2単位)					3 h			22 h		10 h	35 h	197 h

【4】特別活動

- (1) 指導目標： 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
- (2) 学習方法： 「総合的な学習（探究）の時間」と同様（除、式典）。
- (3) 使用教材： 1. 各種関連書籍・資料等〔図書館・インターネット等〕
2. 自主作成ワークシート
3. iPad〔ロイロノート〕
- (4) 評価方法： 「総合的な学習（探究）の時間」と同様に評価し、「特別活動」を含めた所見の形式で提示する。
- (5) 学習計画： （以下に記載 ※実施時期は年間行事予定を参照）

学年	入学式・卒業式 (含、参列)	始業式・終業式 会礼・修了式	植林祭	体育祭 スポフェス	プレゼン発表会	校外授業 職業体験	芸術鑑賞	生徒総会・選挙 全校集会	健康診断 防災訓練	中学:校外宿泊 高校:夢ナビ	その他 (希望制参加)	総合計
第1学年 (35時間)	1 h	5 h	13 h	15 h	4 h	12 h	3 h	10 h	6 h	20 h	α	89 h
第2学年 (35時間)	1 h	6 h	13 h	15 h	4 h	12 h	3 h	10 h	5 h	20 h	α	89 h
第3学年 (35時間)	2 h	5 h	13 h	15 h	4 h	12 h	3 h	10 h	5 h		α	69 h
											中学合計	247 h
第4学年 (1単位)	2 h	5 h	13 h	15 h	4 h	3 h	3 h	13 h	5 h	8 h	α	71 h
第5学年 (1単位)	1 h	6 h	13 h	15 h	4 h	3 h	3 h	13 h	5 h	8 h	α	71 h
第6学年 (1単位)	3 h	5 h	13 h	15 h	4 h	3 h	3 h	13 h	5 h			64 h
											高校合計	206 h